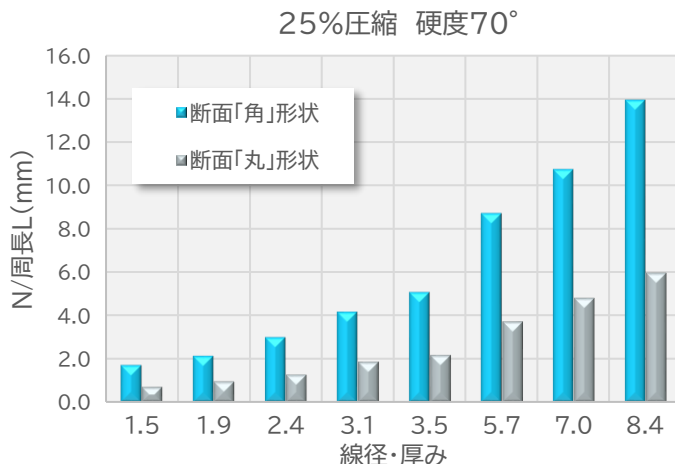
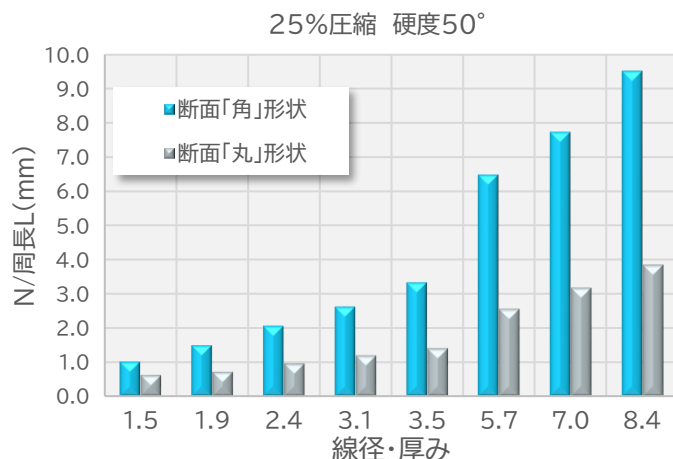


断面形状・厚みによる反力の差

松本産業 品質News (Vol.18)【Oリング反力測定試験】でお伝えしました通り、
ゴム製シール部品は、潰すことで反力を発生させ、流体を封止(シール)します。
つまり、シール性能を発揮させるには、反力を正しく把握し、
必要な力でハウジングを締結する事が重要です。
反力は線径(厚み)・ゴムの硬さ、そして断面形状によっても大きく異なります。

断面「角」リング形状と「O」リング形状でどのくらいの反力がかかるか
厚み・線径毎に比較してみました



断面「角」形状は「O」形状に比べ、相手材にかかる反力は約2倍

シール周長からおおよその反力計算が可能

硬度・厚み・つぶし率より反力計算可能となります。
シール機構設計の際は、お気軽にご相談下さい。